

# 出来る人が、出来る事を、出来る範囲で

## 兵庫県三木市 青1倶楽部

### 概要

地域の高齢化が進む事による街の衰退を回避するために、地域への思いやボランティア活動に理解のある人のみが集まった組織です。「緑化作業」「シンボル花壇のディスプレイ工作」「廃品自主回収」「青パトによる見守りを兼ねた地域防犯パトロール」を行っています。また、老若男女が楽しめるイベントとして夏の「青1花火大会」を毎年開催しています。組織のモットーを「出来る人が、出来る事を、出来る範囲でやる」としていますので強制参加型ではなく得意分野や興味のある活動にのみでも気軽に参加できる形態をとって日々活動に励んでいます。

### 活動について

私たち青1倶楽部は、地域のボランティアに理解のある有志住民で立ち上げた組織です。



定期的に植栽作業を行っています

自治会活動をきっかけに地域愛を持った人が役務を終えた後でも青1倶楽部に登録して引き続き仲間が集まって地域の貢献ができる「場所」の位置づけです。

結成して7年目の組織ではありますが、立ち上げ当初2名だった組織が、今では登録者数60名弱にまで増えました。

「地域の役に立ちたい!と、いう前向きな考えを持った人の熱い思いを無駄にはしない!」

そういったやる気のある人間ばかりが集まっていますので、何をしても前向きに、積極的に取り組むことができます。

地域の高齢化が進む中、地域環境の現状維持とこれからのまちづくりを考え、様々な分野での取り組みを行っています。



特に力を入れているのは「環境整備」であり、誰が見ても美しく、目で見るだけでも楽しめるそんな環境づくりを目指しています。

結成して間もなく、コロナ感染で集まる事が出来なくなり、地域の行事も軒並み中止が相次ぐ状況の中、「今、何が出来るか？」を話し合った結果、「見て楽しめる何かを企画できないか？」という意見があり色々と検討しました。

そこで、地域にあるメインの幹線道路の交差点に、花壇を作り、季節に応じた植栽と工で作成したディスプレイを行い、子どもから高齢者までもが「見て楽しめる」地域のシンボルとなっています。

花壇の作成には普段、土に触れる機会の



青1倶楽部が栽培したカボチャでハロウィン

少ない幼児も誘って植栽イベント企画として、素人ながらみんなで作ったレンガの花壇をシンボル花壇として自作しました。

その花壇には正月の門松をはじめお雛様、鯉のぼり、青1倶楽部が育てたハロウィンカボチャなどの季節に応じたディスプレイや植栽を行い、近隣の幼稚園児の散歩コースにもなっています。

複合交差点で信号待ちが長い位置にありますが、夜間でも「見て楽しんでもらう」ために、夜間はソーラー式スポットライトやイルミネーションでライトアップも行っています。

子どもの見守りを含めた地域防犯については、兵庫県警から許可を得て青パト登録



散歩道に花壇とベンチを設置してきれいな街を維持！

を行った青1倶楽部の名物車両でもあります活動車両での巡回パトロールを、昼夜問わず不定期で実施しています。

高齢世帯も多く住んでいる住宅街ですので防犯パトロールは緊急事態宣言の期間を除き、継続して実施してきました。

日頃からパトロールを行いながら地域内を広く巡回することで、歩道や緑地の気になる伸びた雑草や地域課題の早期発見にもつながっています。

ニューオールドタウンという地域性もあり、高齢者や共働き世帯が多い地域への住民サービスとして「廃品自主回収」を毎月行っています。免許返納や高齢化で重たい廃品を回収場所に持って行けなくなった方、



誕生日に写真を撮れるように本年度初めて作成した「ハッピーバースデイ花壇」

週末が仕事で回収の日曜日に回収場所に行きたくない若い世帯の生活の支えに繋がっています。

青1倶楽部が回収した廃品は地域の子どもの会に全て引き渡し、子どものためになる活動の資金の足しにしています。

子どもたちから高齢者までもが、楽しく集えるイベントの企画として、毎年夏には青1倶楽部主催で「青1花火大会」を実施しています。

花火までの夕方から薄暗くなる時間を利用して地域の子ども会や老人会とも連携して公園のグラウンドでゲーム遊びをしたり、



青パト登録を行った青1倶楽部の活動車両で、巡回パトロールを昼夜問わず不定期で実施

各種助成金を活用して食育を兼ねたミニ露店を開いたりしています。

毎年、来場者数200人規模の大きな恒例イベントとなり子どもたちに「花火のおじさん」と言われるようになったことを嬉しく思っています。

子どもの頃の夏の思い出の1つになってくれれば大人になった時、この精神をどこかで引き継いで発揮してくれるものと期待しています。

組織のモットーを「出来る人が、出来る事を、出来る範囲で」としていますので、やらされている感が一切なく、自分の得意分野の活動のみでも参加出来ることを大前提としていますので、気楽に楽しみながら地域活動に取り組める環境を整えています。

登録メンバーの数が多く組織であり、会社経営者、教員、警察官、大工、市役所勤務など、いろいろな経歴を持った人が集まっていますので、知識や経験を活かした活動ができる強みもあります。

高齢で活動に参加できなくなった方も、「地域の情報源」としてのアンテナの役割を果たしてくれています。

活動の際には、安全面や統一感を出すために青1倶楽部で作ったオレンジ色のベストを着用して活動しています。



高齢者や共働き世帯が多い地域への住民サービスとして「廃品自主回収」を毎月実施

このオレンジベストは組織の立ち上げ当初、活動中に通行人に見られることが恥ずかしかったというのが本音です。

今では一緒に活動する人数が増えるにつれ、このオレンジ色のベストを着て活動することに誇りを持てるようになりました。

誰かに「ありがとう」と言われることを目的としているわけではなく、あくまでも自分たちがこの先の地域を考えたことに取り組んでいる青1倶楽部は、これから先も少しずつ活動分野を広げつつ、地域の発展に貢献できるものと考えています。

「老若男女問わず、20代から80代のメンバーが今日もどこかで地域貢献に励んでいる」それが青1倶楽部です。

(青1倶楽部 代表 角石智昭)